

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

特定非営利活動法人あじさい

大江町にある特定非営利活動法人あじさいの青木彩音さん取材しました！

青木さんは、専門学校を卒業した後、2020年に入職しました。

現在は、大江町にあるグループホームあじさいで勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

主にグループホームの利用者さんの日常生活の支援を行っています。日常生活の中心には「食事、入浴、排せつ」があり、定期的な通院の介助もしています。

他にも利用者さんのレクリエーションのために、外出支援としてドライブに行くこともあります。今はコロナで外出範囲は縮小していますが、そういった介助が私の仕事です。



——グループホームの利用者は何人ですか？

グループホームに住んでいる人は9人です。自宅から通う人もいて、それは1日3名ですので、1日を12名で過ごしています。

24時間対応ですので、シフトは早番・遅番・夜勤があり、日中は3人体制、夜勤は1人でという体制です。

——食事の介助であれば、具体的にどのようにするのですか？

完全に自分で食べられない人には直接口まで介助しますし、食事中に手が止まってしまう人には「どうぞ、〇〇です」とか食べ物の名前を言って勧めたりしますね。

——お仕事のやりがいはどういったところにありますか？

やっぱり、利用者さんからの「ありがとう」が一番ですね。ほんの少しの介助をしても、利用者さんにとってはすごく嬉しいこともあるようで、ニコニコして「いやー、ありがとさま、ありがとさま」と言ってくれるので、それが大きなやりがいになっています。

——「ほんの少し」とは具体的にはどんなことですか？

本当にちっちゃいことなんです。食器を運んだくらい(笑)。食器を運んだだけで「ありがとさまー」と言われるんですよね。「いいー」って毎回返事するんですが。お茶を飲む時間になって、テーブルの上のものをちょっとずらしただけでも、「ありがとさまー」と。

——介助をする中で青木さんが心がけていることは何ですか？

職員が全部やってしまうのではなくて、利用者さんにできることをやってもらう、そして利用者さんが昔できていたことを引き出して生活してもらうということです。利用者さんが今できていることは何なのかをよく観察しながら、できることは利用者さんにやってもらえるような声掛けをしています。



——「できること」を見極めるのはすごく難しそうですね。

そうですね。先輩職員から「この利用者さんはこれができるよ」とかを教えてもらいますが、やっぱり少し環境が変わってしまうと、利用者さんも「ん？」と悩んでしまうことがあります。そういうときはこちらから「これできっかやー？」と声掛けをして、できるような導き方をしつつ、それでもやっぱり「わかんね」となることもあるので、そのときは別なことをやってもらったりしています。

——どういうところを特に気を付けなければいけないのですか？

前にできていたことを、こちらから何回も「前はやってたっけべー」としつこく言ってしまうと、「できねって言ったべ！」と怒ってしまう利用者さんがいたり、逆に「なんでできねのにこんなしつこく言うんだべ…」とシュンとしてしまう利用者さんがいたりします。声掛けはしつつも、様子を見てこちらが引くことも気を付けています。利用者さんと職員のトラブルになりかねないので、声掛けの見極めは大事ですね。

(2) 職場編

——青木さんがこの仕事に就こうと思ったのはどういうきっかけがあったんですか？

私が小さい頃から両親が共働きだったので、祖父や祖母とずっと生活してきたということがあります。実際、祖父も介護を受けていて、車いすで生活していたのですが、小学生のときからデイサービスの職員の方が家に来たりしていて介護が身近にありました。

高齢化社会と言われている中で、高齢者介護は大変だとか、介護はマイナスな印象をもたれることも多いと思いますが、自分に当てはめて考えるとそういうことは私にはないなと気づきました。それで介護職が私に向いているのではと興味をもって、勉強を始めました。



——持っている資格にはどのようなものがあるのですか？

今は、介護福祉士の資格を持っています。専門学校を卒業すると受験資格が得られるので、後は自分で必死に勉強して、国家試験に合格する必要があります。

——国家試験を通るためにはすごく勉強しないといけないですね。

そうですね。試験は1月末だったので、専門学校での最後の実習が10月に1か月間あって、それが終わってから3か月間はずっと国家試験対策をしていました。

——就職先をあじさいにしたのはどうしてですか？

まず、認知症の人と関わる仕事がしたいということがありました。あと専門学校は仙台にあったのですが、就職では地元に戻りたいと思い、インターネットを使って自宅から通える距離のグループホームを探して、「いいな」と思ってこのあじさいに就職しました。

——どういうところがいいなと思ったのですか？

第一印象は、家庭的だなと思いました。職員も雰囲気もアットホームな感じでしたね。1回目に来たときにもいいなと思ったのですが、2回目に来たときも1回目と同じ雰囲気で、いいなと思ってあじさいに決めました。

——家庭的だと思ったのはどういうところですか？

食事を自分のところで作るグループホームは多いのですが、あじさいでは調理場が利用者さんから見える位置にあるんですよ。コロナ前は利用者さんと一緒に調理していたそうです。デイサービスのほうも利用者さんからすぐ見えるところに調理場があります。一緒に調理できるのは利用者さんのためにもなりますし、職員の仕事を利用者さんと関わりながらできるのがすごくいいと思いました。



——認知症の人と関わりたいと思ったのはどうしてですか？

学校で「認知症の理解」という専門科目があって、私は認知症がただの物忘れだと思っていましたが、その授業で、認知症で亡くなることがあると知って衝撃を受けました。それに、認知症の人の頭の中で見えている世界と、認知症のない人が見えている世界は違うことを教えてもらい、そこで認知症の人と関わってみたいと思いました。

——学校で学んだ知識は使える部分もあると思いますが、実際に働いてみるとどうですか？

「現場では絶対に教科書通りにはいかないから」と学校でも言われました。利用者さんの自立支援と口では言っても、全然うまくいかないからと言われていました。ですが、あじさいは自立支援に力を入れていて、利用者さん主体、利用者さん中心の生活にしているので、それほど学んだこととズレはなかったですね。やっぱり先輩の経験にはかなわないところもあるので、そこは学びながら、学校で学んだことも活かしています。

——青木さんの思う、あじさいの凄いところってどんなところですか？

昼食時間以外に休憩が1時間あって、休憩室で横になれます(笑)！お昼ご飯は利用者さんと一緒にとるので業務時間内に含まれますが、それ以外に昼寝できるのが凄いな、いいなと思います。友達にもうらやましいと言われます(笑)。



——確かにいいですね(笑)。

(3) ある日の過ごし方編

●9:00 【出社】

検温、手洗い、うがいをし、パソコンで申し送りを確認します。その後、夜勤者とグループホーム職員と一緒に申し送りを口頭で行います。



●9:15 【業務開始】

フロアや居室の掃除をします。終了後、利用者さんと一緒に「北国の春」の歌でタオル体操をします。

●10:00 【午前の業務】

午前のお茶を準備してから、入浴が始まります。その後は昼食の準備を始めます。



●10:30 【レクリエーション】

レクリエーションは、天気がいい時には外に出て散歩や外気浴をします。室内だとカルタや風船バレーをすることが多いです。

●12:30 【昼食】

利用者さんと一緒に食事をします。

●13:00 【休憩】

休憩室で横になります。



●14:00 【連絡帳作成】

日々のケア記録をパソコンで入力し、連絡帳も作成します。連絡帳は通所の利用者さんの家族に日常の様子を伝えるものです。家族からのコメントが返ってきますので、コミュニケーションをとっています。

●15:00 【午後のおやつ】

午後のおやつを準備します。その後に午後のレクリエーションを行います。

●16:30 【送り出し】

通所の利用者さんの送り出しをします。その後は夕食の準備です。

●17:30 【夕食】

●18:00 【退勤】

(4) むらやまでの暮らし編

——**仙台の専門学校に通っていたということですが、地元に戻りたかった理由は何ですか？**

家族と一緒にいたかったからです(笑)。一人暮らしは一度経験してみたかったので仙台に行きましたが、やっぱり地元には友達もいましたし、祖父母もまだ元気なので、一緒に生活したいと思って戻りました。

——**仙台と比べて、山形のいいところはどこでしょうか？**

自然です。仙台にいた時も、実習やボランティアでいろいろなところに行きましたが、やっぱり自然の豊かさではちょっと山形には勝てないかなあと(笑)。あと、ラーメンとか果物とか食べ物も美味しいなと思って、そういうこともあって戻りたかったです。

——**自然が良かったとのことですが、好きな場所がありますか？**

好きな場所としては、西蔵王から見る夜景ですね。山形市内を一望できて、「わっ！キレイ！」と思います。

あとはその日の気分で、「あ！あそこ行きたかったな」と思い出して、とりあえず行っちゃおうという感じであちこち行きますね。車があるとどこでも行けますので。

——**利用者さんをドライブに連れていくこともあるそうですね。行く場所はリクエストがあるのですか？**

希望は一応聞くんですが、「任せる」って言われることが多いです(笑)。時間があるときは「遠くさ行きたいな」と言いますが、「具体的には？」って聞くとやっぱり「任せる」と言います(笑)。

利用者さんがよく行くのは、寒河江のチェリーランドや、朝日町のダチョウ（オーストリッチ展示園）のようです。



——利用者さんに任せると言われたときのために、自分のレパトリーを増やさないといけないですね。



そうなんです(笑)。私は仕事が終わったらまっすぐ帰るので、あまり西村山のあたりを回ったことがないんです。ですので「ちょっと待ってて」と言ってグーグルマップで調べています(笑)。

この前、日本一公園と言われている楯山公園に連れていきました。利用者さんは何回か行ったことがあるはずですが、ちょっと忘れていたので何回行っても「わあー！」と言います(笑)。私はそれ以上に「わあー！！」と言って、すごくきれいな眺めに感動していました。

(5) まとめ編

——今後、仕事をしていくうえでの目標はありますか？

あじさいでは研修も積極的に受けられますので、自分に合った研修に参加して、知識を増やしていきたいです。あと、資格も少しずつ取っていくのが目標です。

——研修にはどのようなものがあるんですか？

社内での研修もあれば、Zoom を使って県外の人と交流することもあります。コロナが落ち着いてくれば、外部に自ら行って研修を受けることもできるようになると思います。

内容はいろいろで、この前受けたものは「看取り介護」についてでした。グループホーム職員だけではなく、特別養護老人ホームだったり、いろいろな事業所の職員が集まってやりました。

——どういう資格を取りたいんですか？

現場で5年働くとケアマネージャーといわれる介護支援専門員の受験資格が取れるので、それが今目指している一番大きいものです。

——今後介護士を目指す人たちに向けて、アドバイスをお願いします。

就職活動をしていて思ったことは、気になった施設には見学などの訪問を何回かしたほうがいいということです。実際私が行った施設の中にも、1回目に行ったときは職員の対応がすごく良くて、手厚くしてくださったところがあったのですが、次に行ったときには対応がいまいちで(笑)。そこに就職するのはやめたんですが、そういう施設がいくつかありました。やっぱり本当の雰囲気を知らないで就職してしまうとそのあとが大変だと思います。あじさいは2回訪問して、どちらもすごく対応や雰囲気が良かったので、入りました。

——ありがとうございました！

介護の現場に行く機会が初めてだったため、その現場で働く青木さんのお話が大変勉強になりました。インタビュー中もそうでしたが、青木さんは方言を使って利用者の方々と話されているようで、そこから生まれる利用者の方との距離感の近さがとても魅力的に思えました。

【インタビュアー：

山形大学人文社会科学部 草木啓汰、小野誠司】



特定非営利活動法人あじさい

- ・所在地 西村山郡大江町大字本郷丁 10-1
 - ・設立 平成 13 年 11 月
 - ・従業員数 74 名（男性 15 名、女性 59 名）
 - ・URL <https://www.npo-ajisai.jp>
-